

科目区分	専門分野	授業科目	地域で暮らす人を支えるしくみ
講師	看護教員	実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(15時間)	開講年次	2年次 第1学期
授業概要 *講師からのメッセージ	本科目は「地域と暮らし」の積みあげ科目である。健康な生活を送るためにどのような生活を支える仕組みがあるのか、調べ学習や施設見学、ディスカッションを通して理解を深めましょう。		
<p>目的：地域で「生きる」こと、「暮らす」ことを支える仕組みを理解する</p> <p>目標：1. 地域で暮らす人々を支えている仕組みを理解する 2. 地域生活を支える社会支援について理解する 3. 人々が地域で暮らすことについて、支えている仕組み・資源を交えて概説できる</p>			
回	授業内容	授業方法	
1	地域で「生きる」こと、「暮らす」ために必要な仕組みについて ：授業の進め方の説明	講義	
2	地域で「生きる」こと「暮らす」ことを支えている実態について ：いわくに市民活動支援センターの方、岩国ユネスコ協会の方より講義	講義	
3	地域で「生きる」こと、「暮らす」ことを支えている実態について ：NPO 法人の方より取り組みについて	講義	
4	地域で「生きる」こと、「暮らす」ことを支えている実態について ：地域での取り組み・ボランティアへの参加について計画立案	演習	
5	レクリエーションとは レクリエーション計画	講義 演習	
6	レクリエーションの実施・意見交換	演習	
7	地域で「生きる」こと、「暮らす」ことを支える実態について ：意見交換・まとめ	演習	
8(45分)	筆記試験		
評価方法	筆記試験(40点) 課題レポート(60点) 評価基準参照		
テキスト	医学書院：健康支援と社会保障制度[2] 公衆衛生 医学書院：地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論1		
備考	既習関連科目：地域と暮らし 授業開講時期：4月～5月、授業6回目までは7月には終了し8月～10月には岩国市で実施されているボランティア活動参加(地域・在宅看護論実習Ⅱ)に参加する。 授業7回目：地域・在宅看護論実習Ⅱ終了後、課題テーマについて意見交換しまとめる。		